

ハバクク書

第

一章

「預言者ハバククが見た神の託宣。」

主よ、わたしが呼んでいるのに、

いつまであなたは聞きいれて下さらないのか。

わたしはあなたに「暴虐がある」と訴えたが、

あなたは助けて下さらないのか。

あなたは何ゆえ、わたしによこしまを見せ、

何ゆえ、わたしに災を見せられるのか。

略奪と暴虐がわたしの前にあり、

また論争があり、鬭争も起っている。

それゆえ、律法はゆるみ、公義は行われず、

悪人は義人を囲み、公義は曲げて行われている。

諸国民のうちを望み見て、

驚け、そして怪しめ。

わたしはあなたがたの日に一つの事をする。

人がこの事を知らせても、

あなたがたはとうてい信じまい。

見よ、わたしはカルデヤびとを興す。

これはたけく、激しい国民であって、

地を縦横に行きめぐり、

自分たちのものでないすみかを奪う。

これはきびしく、恐ろしく、

そのさばきと威厳とは彼ら自身から出る。

その馬はひょうよりも速く、

夜のおおかみよりも荒い。

その騎兵は威勢よく進む。

すなわち、その騎兵は遠い所から来る。

彼らは物を食おうと急ぐわしのように飛ぶ。

彼らはみな暴虐のために来る。

彼らを恐れる恐れが彼らの前に行く。

彼らはとりこを砂のように集める。

彼らは王たちを侮り、つかさたちをあざける。

彼らはすべての城をあざ笑い、

土を積み上げてこれを奪う。

こうして、彼らは風のようになぎ倒して行き過ぎる。

彼らは罪深い者で、おのれの力を神となす。

三 わが神、主、わが聖者よ。

あなたは永遠からいますかたではありませんか。

わたしたちは死んではならない。

主よ、あなたは彼らをさばきのために備えられた。

岩よ、あなたは彼らを懲らしめのために立てられた。

三 あなたは目が清く、悪を見られない者、

また不義を見られない者であるのに、

第

二 章

「わたしはわたしの見張所に立ち、

無情にも諸国民を殺すのであろうか。

その食物も豊かになるからである。

その引き網に香をたく。

引き網でこれを集め、

網でこれを捕え、

治める者のない這う虫のようにし、

悪しき者が自分よりも正しい者を、のみ食らうのに、

何ゆえ不真実な者に目をとめていられるのですか。

何ゆえ黙っていられるのですか。

あなたは人を海の魚のようにし、

彼はつり針でこれをことごとくつり上げ、

こうして彼は喜び楽しむ。

それゆえ、彼はその網に犠牲をささげ、

それによつて彼はぜいたくに暮し、

その食物も豊かになるからである。

それで、彼はいつまでもその網の獲物を取り入れて、

無情にも諸国民を殺すのであろうか。

物見やぐらに身を置き、

望み見て、彼がわたしになんと語られるかを見、

またわたしの訴えについて

わたし自らなんと答えたらよからうかを見よう。

主はわたしに答えて言われた、

「この幻を書き、

これを板の上に明らかにし、

走りながらも、これを読みうるようにせよ。

この幻はな

終りをさして急いでいる。それは偽りではない。

もしおそれれば待つておれ。

それは必ずしも臨む。滞りはしない。

見よ、その魂の正しくない者は衰える。

しかし義人はその信仰によつて生きる。

また、酒は欺くものだ。

高ぶる者は定まりがない。

彼の欲は陰府のように広い。

彼は死のようであつて、飽くことなく、つねに飢える。

万国をおのれに集め、

万民をおのれのものとしてつどわせる」。

これらは皆ことわざをもつて彼をあざけり、

あざけりのなぞをもつて彼をあざ笑わないだらうか。

すなわち言う、

「わざわいなるかな、

おのれに属さないものを増し加える者よ。

いつまでこのようであらうか。

質物でおのれを重くする者よ」。

あなたの負債者は、にわかに興らないであらうか。

あなたを激しくゆすぶる者は目ざめないであらうか。

その時あなたは彼らにかすめられる。

あなたは多くの国民をかすめたゆえ、

そのもろもろの民の残れる者は皆あなたをかすめる。
これは人の血を流し、
国と町と、その中に住むすべての者に
暴虐を行つたからである。

わざわいなるかな、
災の手を免れるために高い所に巢を構えようと、
おのが家のために不義の利を取る者よ。
あなたは事をはかつて自分の家に恥を招き、
多くの民を滅ぼして、自分の生命を失つた。
石は石がきから叫び、
梁は建物からこれに答えるからである。

わざわいなるかな、
血をもつて町を建て、
悪をもつて町を築く者よ。
見よ、もろもろの民は火のために勞し、
もろもろの国びとはむなししい事のために疲れる。
これは万軍の主から出る言葉ではないか。
海が水でおおわれているように、
地は主の栄光の知識で満たされるからである。

わざわいなるかな、
その隣り人に怒りの杯を飲ませて、これを酔わせ、

彼らの隠し所を見ようとする者よ。
あなたは誉の代りに恥に飽き、
あなたもまた飲んでよるめけ。
主の右の手の杯は、あなたに巡り来る。
恥はあなたの誉に代る。

あなたがレバノンになした暴虐は、あなたを倒し、
獣のような滅亡は、あなたを恐れさせる。
これは人の血を流し、
国と町と、町の中に住むすべての者に、
暴虐を行つたからである。

刻める像、鑄像および偽りを教える者は、
その作者がこれを刻んだとてなんの益があるうか。
その作者が物言わぬ偶像を造つて、
その造つたものに頼んでみても、
なんの益があるうか。

わざわいなるかな、
木に向かつて、さめよと言ひ、
物言わぬ石に向かつて、起きよと言う者よ。
これは黙示を与え得ようか。

見よ、これは金銀をきせたもので、
その中には命の息は少しもない。
しかし、主はその聖なる宮にいます、
全地はそのみ前に沈黙せよ。

第三章

預言者ハバククの祈。

主よ、わたしはあなたのことを聞きました。

主よ、わたしはあなたのみわざを見て恐れます。

この年のうちにこれを新たにし、

この年のうちにこれを知らせてください。

怒る時にもあわれみを思いおこしてください。

神はテマンからこられ、

聖者はパランの山からこられた。

その栄光は天をおおい、

そのさんびは地に満ちた。

その輝きは光のようであり、

その光は彼の手からほとばしる。

かしこにその力を隠す。

疫病はその前に行き、熱病はその後に従う。

彼は立って、地をはかり、

彼は見て、諸国民をおのかせられる。

とこしえの山は散らされ、永遠の丘は沈む。

彼の道は昔のとおりである。

わたしが見ると、クシヤンの天幕に悩みがあり、

ミデアンの国の幕は震う。

主よ、あなたが馬に乗り、

勝利の戦車に乘られる時、

あなたは川に向かって怒られるのか。

川に向かって憤られるのか。

あるいは海に向かって立腹されるのか。

あなたの弓は取り出された。

矢は、弦につがえられた。

あなたは川をもつて地を裂かれた。

山々はあなたを見て震い、

荒れ狂う水は流れいで、

淵は声を出して、その手を高くあげた。

飛び行くあなたの矢の光のために、

電光のようにきらめく、あなたのやりのために、

日も月もそのすみかに立ち止まった。

あなたは憤って地を行きめぐり、

怒って諸国民を踏みつけられた。

あなたはあなたの民を救うため、

あなたの油そそいだ者を救うために出て行かれた。

あなたは悪しき者の頭を碎き、

彼を腰から首まで裸にされた。

あなたはあなたのやりで將軍の首を刺しとおされた。

彼らはわたしを散らそうとして、

つむじ風のように来、

貧しい者をひそかに、のみ滅ぼすことを楽しみとした。

あなたはあなたの馬を使って、

海と大水のさかまくとを踏みつけられた。

わたしは聞いて、わたしのからだはわななき、

〔セラ

〔セラ

〔セラ

わたしのくちびるはその声を聞いて震える。

腐れはわたしの骨に入り、

わたしの歩みは、わたしの下によろめく。

わたしはわれわれに攻め寄せる民の上に

悩みの日の臨むのを静かに待とう。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

おりには羊が絶え、牛舎には牛がいなくなる。

牛舎には牛がいなくなる。

しかし、わたしは主によって楽しみ、

わが救の神によって喜ぶ。

主なる神はわたしの力であって、

わたしの足を離れ、わたしの足のようにし、

わたしに高い所を歩ませられる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。

「はたし」は人の心を苦しめる。